



医薬基盤研究所の 第2期中期目標案・中期計画案の概要

平成22年2月23日

はじめに



1. 第1期中期計画の終了と第2期中期計画の策定

(独)医薬基盤研究所においては、平成22年3月をもって第1期中期計画が終了することから、厚生労働大臣から指示される第2期中期目標に基づき、第2期中期計画(平成22年度から平成26年度までを想定)を今年度内に作成し、厚生労働大臣の認可を受ける必要がある。

2. 第2期中期計画策定に係る今後の主な流れ

- 2月23日: 第2期中期計画案を(独)医薬基盤研究所運営評議会に報告及び審議。
- 3月1日 : 厚生労働省独立行政法人評価委員会調査研究部会において第2期中期計画案を審議。
- 3月初旬: 第2期中期計画を厚生労働大臣に提出。
- 3月末日: 厚生労働大臣による認可。

第1 中期目標の期間



平成22年4月1日～平成27年3月31日(5年間)

第2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

A 全体的事項

B 個別的事項

1. 基盤的技術研究
2. 生物資源研究
3. 研究開発振興

第3 業務運営の効率化に関する事項

1. 機動的かつ効率的な業務運営
2. 業務運営の効率化に伴う経費節減等

第4 財務内容の改善に関する事項

第5 その他業務運営に関する事項

- (1) 人事に関する事項
- (2) セキュリティに関する事項
- (3) 施設及び設備に関する事項

1 戦略的な事業の展開

(1) 社会的ニーズ及び厚生労働省の政策課題を踏まえた戦略的事業展開

- 第2期中期目標案のポイント
 - ・ 創薬等に向けた基盤的研究を行う中核的な機関として、社会からの様々なニーズ及び厚生労働省の政策課題を踏まえて、新興・再興感染症対策、迅速な新薬開発、難病対策などに向けて組織的、戦略的、重点的に研究開発を推進。
 - ・ 研究成果や社会的ニーズ等を踏まえて、プロジェクトの見直しを随時行い、優先順位に応じたプロジェクトの創設や廃止も含めた機動的な事業運営。

- 第2期中期計画案のポイント
 - ・ 中期目標達成のため、他の研究機関と連携し、各研究テーマは原則として有期限として、流動的に業務運営。

(2) 研究成果の普及及びその促進

- 第2期中期目標案のポイント
 - ・ 適切な産学官連携や合理的・効果的な知的財産戦略を実践していくことにより、積極的に社会へ貢献。
 - ・ 研究成果を論文、研究集会、シンポジウム、広報誌等で発表。
 - ・ 施設の一般公開を行い、研究成果によって期待される内容を国民目線で具体的に分かりやすく情報を発信することにより、国民に対するサービスの向上。

- 第2期中期計画案のポイント
 - ・ 年間100報以上の査読付き論文の掲載。
 - ・ 本中期目標期間中に30件以上の特許出願。

1 戦略的な事業の展開

(3) 外部との交流と共同研究の推進

○ 第2期中期目標案のポイント

- ・ 科学技術の飛躍的進歩及び経済社会の発展に貢献する具体的な成果を創出。
- ・ 広く国内外の研究者等の共用に供するべく利用環境を整備。

○ 第2期中期計画案のポイント

- ・ 国内外の大学等との研究交流を、共同研究、受託研究、寄附研究、外部研究者の当研究所施設の利用など多様な形でより積極的に進める。

(4) 研究基盤・研究環境の整備と研究者の育成

○ 第2期中期目標案のポイント

- ・ 今までの実績を活かしながら、重点研究への研究テーマの絞り込みにより、最先端の研究開発に必要な環境整備。
- ・ また、今までの実績も活かしながら連携大学院等の活用により、積極的な若手研究者等の更なる育成。

○ 第2期中期計画案のポイント

- ・ 中期目標達成のため、最先端の研究開発に必要な環境整備と連携大学院等の活用による積極的な若手研究者等の更なる育成。

2 適切な事業運営に向けた取り組み

(1)コンプライアンス、倫理の保持等

- 第2期中期目標案・中期計画案のポイント
 - ・ 研究不正や研究費不正の防止、倫理の保持、法令遵守等について徹底した対応。

(2)外部有識者による評価の実施・反映

- 第2期中期目標案・中期計画案のポイント
 - ・ 評価結果をプロジェクトの見直しや研究資源の配分に反映させるなど、評価結果を積極的に活用し、公表。

(3)情報公開の促進

- 第2期中期目標案・中期計画案のポイント
 - ・ 適切かつ積極的に情報の公開を行い、また、契約業務については、透明性が確保されるよう留意。

B. 個別的事項



1. 基盤的技術研究

より効率的かつ効果的に画期的な医薬品等の開発支援に資するよう事業を実施する観点から、新興・再興感染症対策、迅速な新薬開発、難病対策等の国の政策課題の解決と製薬産業等の活性化を図ることを目標に、以下の研究に取り組む。

- (1) 次世代ワクチンの研究開発
- (2) 医薬品等の毒性等評価系構築に向けた幹細胞基盤研究
- (3) 難病治療等に関する基盤研究